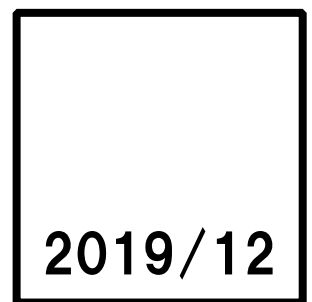




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
 全国有数の〈社史コレクション〉を
 さらに活用していただくため、
 社史の使い方や、社史の楽しさ、
 社史情報などをお届けしていきます。



空の旅の前後に、ショッピングや施設見
 学など、空港を楽しむ方も多いのではない
 でしょうか。今回は空港の社史に書かれた
 歴史のひとコマやエピソードなどを紹介し
 ます。なお、記述は全て社史に拠りました。
 これら全ての所在・サービス・名称等が、
 現在も継続しているわけではありません。



『東京国際空港ターミナルビル15年の
 歩み』（1970年刊）。羽田空港では、見
 学者からコントロールタワーを見たいとい
 う強い要望があったそうです。そこで、運
 輸省航空局と折衝を重ね、使用停止になっ
 ていた旧コントロールタワーを改装し、1
 970年より「コントロールタワー教室」

として公開しました。各階で航空関係の展
 示を行うとともに、旧管制室では実物と同
 様に作った機器を設置し、レーダーは実際
 のものを録画撮影して放映していたそう
 です。「このような展示公開は世界でも類
 例がない」とあります。



名古屋空港ビルディング株式会社の『飛
 翔NEO 新生10年のあゆみ』（2015
 年刊）によると、1957年に、羽田に次
 いで全国で2番目の空港ビルとして名古
 屋空港ターミナルビルが建設されました。
 まだ、誰もが気軽に飛行機に乗れなかつた
 時代です。空港では普及活動の一環とし
 て、航空展示室を設けました。名古屋観光

10選の一つにもなり、連日、観光バスが
 連なることもあったそうです。1985年
 に完成した新国内線ターミナルビルにも、
 名古屋空港航空宇宙館を設けました。20
 04年の閉館時には、無料開放をするとと
 もに、名機百選のテレホンカードの配布な
 どをしたそうです。



つづいて、『富山空港ターミナルビル3
 0周年記念誌』（2012年刊）から。20
 10年に、国内線ターミナルビル2階の売
 店をリニューアルオープンしました。店名
 は「まいどは屋」といいます。「まいどは
 や」は富山弁で「こんにちは」という意味
 で、利用客からの応募の中から選ばまし
 た。ます寿しや地酒のほか、県内の名産品
 や特産品を揃え、期間限定で「富山の新酒・
 地酒フェア」も行ったとあります。

（裏面に続く）

空港の社史、点描。

(表面から続く)

➔ 『高知空港ビル20年史』(2002年刊)より。1983年に高知空港ターミナルビルが完成しました。当初、長方形の建物を予定していたようですが、面積が大きくなりすぎるため、中央部分を三角形に削り取りました。「へこんだ部分を土佐湾になぞらえて池にしたらいい」と考えたそうです。正面玄関の脇にある池には、瀬戸内海の黒姫島から運んできた御影石を組み立て、四国は一つであることを表現しました。流れる水は黒潮に見立てているそうです。

➔ 『福岡空港ビルディング50年の歩み』(2017年刊)によると、2010年から第二ターミナルビル4階送迎デッキに「福岡空港ビアテラス」をオープンしました。飛行機を間近に見ながら飲食を楽しんでもらおう、という期間限定の試みでしたが、好評であったことから「ビアエア」として毎年開催。空港をより身近な場所へと変え、この経験が再整備工事後の「人の集まる空港、PORTからPARKへ」というコンセプトにつながったそうです。

➔ 『北海道空港株式会社20年の歩み』(1981年刊)によると、千歳空港では昭和40年代、到着客はトラップで降り、ターミナルビルまで歩かなければならなかったそうです。しかし、北海道の冬、その間はアイスバーンになってしまいい、「本州からのお客はおっかなびつくりで、ソロリ、ソロリ……」だったそうです。その対策に航空会社は苦慮し

ました。全日空ではトラップからターミナルビルまで絨毯を敷き、日本航空は滑り止めの靴カバーを用いたと書かれています。

➔ 兵庫県伊丹市に所在していた関西国際空港ビルディング株式会社の『10年のあゆみ』(1976年刊)から。ターミナルビルのオープン以来、遊戯施設を充実させ、飛行機に親しんでもらうため「飛行機の宙返りを思わせるスリルジェット」や「飛行機を型どったバッテリー動力のもの」(いずれも有料)を設置したほか、パイロットレーナ(操縦練習機)のある室内遊戯場も拡張させました。修学旅行生や家族連れ、時間待ちの旅客らに利用されていたそうです。

➔ 『大分航空ターミナル30年の歩み』(1987年刊)によると、1971年に完成した新大分空港では「大分の土産は空港で……」をモットーとした売店を誕生させます。周辺の海でとれた新鮮な魚や貝類をおいたことは、当時の空港としては、画期的なことでした。城下カレイや関アジも販売されました。冷蔵ケースの中をはいまわる活きたコは旅客の笑いを誘ったそうです。また、車海老がケースから飛び出して、ロビーの床を跳ね回り、旅客を驚かせたり喜ばせたりしたこともあったそうです。

➔ 当館では、全国の空港関連の会社の社史もコレクションしています。ご寄贈の協力をお願いします。

(企画情報課 高田)

●お問合せ先 神奈川県立川崎図書館 企画情報課●

〒213-0012 川崎市高津区坂戸3-2-1 かながわサイエンスパーク 西棟2F

電話：044-299-7826 FAX：044-322-8878

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>